



2023年10月30日

各 位

会社名 東邦金属株式会社
代表者名 代表取締役社長 小樋 誠二
(コード番号：5781 東証スタンダード)
問合せ先 総務部 部長 西崎 友彦
(TEL：06-6202-3376)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて当社の現状を評価・分析し、改善に向けた方針を決議致しましたので、下記の通り、お知らせ致します。

1. 現状評価

当社は、市場での安定基盤を作り、適正な利益を確保するため、中期経営計画「Revive2026～復活東邦に向けて～」を実行し、目標を達成すべく、様々な施策に取り組んで参りました。

その結果、ROEにつきましては、改善傾向にあります。PBRにつきましては、年度毎にバラツキが見られ、安定して1倍を超える水準には、達しておらず、また、株式会社の使命である株主還元も実施することができず、株主・投資家の期待に応えることができていない状況であるとの認識を持っております。

数値指標

(単位：百万円)

	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (実績)
売上高	4,173	6,400	4,871
営業利益	127	685	252
経常利益	184	707	282
当期純利益	149	601	302
営業利益率	3.04%	10.70%	5.17%
経常利益率	4.40%	11.04%	5.78%
ROE	6.5%	20.1%	8.9%
PBR	1.08倍	0.78倍	1.19倍
配当金	-	-	-

2. 改善に向けた方針・目標

現状評価を踏まえ、資本コストや資本収益性等の分析内容を協議した結果、収益性の改善に向けた方針として、ROE 8 %以上、PBR が 1 倍を上回る水準とすることを目標として定めました。

3. 改善に向けた具体的取組み

① 収益力の向上

現在進めている中期経営計画を着実に遂行することにより、基幹事業の底上げ、成長ドライバーと定める事業（製品群）の拡大に注力し、2027 年 3 月期には、売上高 6,280 百万円、営業利益 314 百万円の達成を目指します。

※2022 年 5 月 12 日発表 中期経営計画「Revive2026～復活東邦に向けて～」

<https://www.tohokinzoku.co.jp/ir/midplan>

なお、今年度中に 2024 年から 2026 年度の中期経営計画の見直しを行う予定です。

② 株主還元

当社は、長期に渡り、株主への利益還元である配当を実施することができておりませんが、配当につきましては、最重要事項であると認識しております。また、安定的な配当を実施するためには、競争力強化のための積極的な設備投資を実施し、収益性の向上を図ることが、優先課題であり、まずは全社を挙げて中期経営計画を遂行し、早期の復配を果たすべく、邁進して参ります。

③ IR 活動の充実

株主・投資家向けに情報開示を拡充することにより、当社のことをより理解していただき、その結果として PBR の改善に繋がるよう努めて参ります。具体的には、決算説明資料の開示、技術開発の進捗状況の報告を行い、当社の活動内容の周知を図ります。また、当社ウェブサイトをはじめとした各種情報媒体を活用し、情報発信を充実して参ります。

以上